

## 令和7年度第2回つくば地域医療構想調整会議 議事録

1 日 時：令和7年11月12日（水）15：00～16：30

2 場 所：つくば保健所 大会議室

3 出席者：別添「出席者名簿」のとおり

### 4 議 事

#### （1）定足数の確認

事務局司会は、つくば地域医療構想調整会議委員総数23名に対し、出席委員20名（うち代理出席3名）であることを確認し、地域医療構想調整会議設置要綱（以下「要綱」という。）第7条第2項に規定する定足数（過半数）に達していることを報告した。

#### （2）会議の公開

事務局司会は、本会議を公開とすることについて意見を求めたところ、異議なく承認された。

#### （3）会長等の選出

事務局案として、つくば地域医療構想調整会議会長を成島委員、副会長を本多委員とすることについて意見を求めたところ、異議なく承認された。

#### （4）会議録署名人の署名

議長は、要綱第10条第1項の規定に基づく会議録署名人に、篠崎委員及び小嶋委員を指名した。

#### （5）議事

##### ■協議事項

##### ①非稼働病棟の今後の運用計画について

- ・事務局から、非稼働病棟を有する医療機関から提出された運用計画の内容について説明を行った。
- ・当会議の委員である筑波記念病院、水海道さくら病院、つくば双愛病院から非稼働病棟における今後の運用計画について説明があった。
- ・議長より各委員に意見を求めたところ、異議なく、承認された。

## ■報告事項

### ①第8次茨城県保健医療計画の進捗状況について

#### ②令和6年度病床機能報告・外来機能報告の結果について

- ・事務局から、第8次茨城県保健医療計画の進捗状況及び令和6年度病床機能報告・外来機能報告の結果の概要について報告を行った。

#### 【主な質疑】 ●委員発言

- 地域包括医療病棟について、つくば医療圏並びにその周辺のなかで、どのぐらい存在するのか、今後の協議のために把握しておく必要があるのではないか。
- 病床区分について、共通認識をもつために、一定の定義を示してほしい。

### ③有床診療所の廃業について

- ・事務局から、有床診療所（許可病床19床）の廃業について報告した。
- ▼質疑無し

### ④救急医療について

- ・事務局から、管内消防本部から提供された「つくば医療圏における救急搬送データ」、管内医療機関から提供された「つくば医療圏における救急患者受入件数について」、県医療政策課作成の「救急搬送における選定療養費の徴収に関する検証結果（抜粋）」について報告を行った。

#### 【主な質疑】 ●委員発言

- 茨城救急電話相談に繋がりにくいという話をよく聞くので、改善を望みたい。
- 市民、学校現場においてなかなか理解が浸透していないということがあるので、県からも、更なるPR、アナウンスをお願いしたい。

### ⑤医療連携の状況について

- ・事務局から、令和6年度病床機能報告を基に作成した管内医療機関の「退院先／入院先の場所」及びアンケート調査により作成した「医療連携について」の現況を報告した。

#### 【主な質疑】 ●委員発言

- 医療機関が協力して、工夫しながら急性期から回復期への患者の治療サイクルを回してゆく必要があると考える。
- 施設等との密接な連携は行っているが、なかなか十分に機能できていない状況にある。
- 高齢者の方が、かなり増えて、退院される場所にかなり難渋する例も非常に多く、退院先を探すまでは時間がかかる状況にある。また、受入に関しては下り搬送を積極的に受け、連携については今後進めていきたいと思う。
- 地域連携室の強化を図っており、急性期病院の病床数をひっ迫させないように工夫しているところである。

⑥いちほら病院回復期病床の運用状況及び救急の受入状況について

- ・いちほら病院から、令和6年7月に回復期から急性期へ6床の病床機能転換をして以降の「回復期病床の運用状況及び救急の受入状況について」報告があった。回復期病床の受入については、あまり変化なく、救急受入も8割程度の応需率で安定して受け入れることができているとの説明があった。

【主な質疑】 ●委員発言 ☆議長発言

☆今後の報告のあり方について、委員の意見を伺いたい。

●地域全体の課題なので、今後議論することとして、報告はもうよろしいのではないか。

●地域医療構想調整会議として、今後の報告をどうするべきか許可者である県に方針を確かめる必要があるのではないか。

☆今後の報告のあり方について、県に確認する方向で進めたい。

⑦医師派遣要望調整の県地域医療対策協議会の協議結果について

- ・事務局から、つくば地域医療構想会議からの要請について、県地域対策協議会において協議された結果を報告した。

▼質疑無し

⑧小児医療の集約化・広域化を検討するためのワーキングについて

- ・事務局から、つくば医療圏も含まれる県南西ワーキンググループについて報告した。

▼質疑無し

⑨年末年始の診療体制について

- ・管内の年末年始の診療体制、県内・管内のインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症報告数について報告した。

▼質疑無し

⑩地域医療提供体制データ分析事業について

- ・筑波大学ヘルスサービス開発研究センター 渡邊准教授より説明があった。

【主な質疑】 ●委員発言

●特に大腿骨近位部骨折が、今でも非常に多いと感じており、さらに増えてくるとその受け入れができる体制づくりを、構築していかなければならないと思う。

●住んでいる地域の医療状況を聞くことができ、貴重な機会になった。

以上をもってすべての議事が終了したので、議長は閉会の宣言をした。  
上記を確認するため、会議録を作成し、会議録署名人が署名する。

令和7年12月23日

つくば地域医療構想調整会議会長 所 嶋 浄

会議録署名人 小 嶋 秀 治

会議録署名人 嵯 崎 山 本 条 山 崎 美 由 美